お客様各位



「PUSHLOG Viewer」機能追加と

ゲートウェイのファームウェアバージョンアップについて

PUSHLOG をご利用いただき、誠にありがとうございます。

ご使用いただいております PUSHLOG Viewer に下記の機能を追加します。

また、合わせて PUSHLOG ゲートウェイのファームウェアをバージョンアップします。

下記内容をご確認いただき、追加機能をご使用いただくお客様は、ファームウェアのバージョンアップを

実施していただきますよう、お願いいたします。

<追加機能>

① データ収集機能追加※

・高速トリガ設定(最小10秒周期でデータ収集が可能)

・収集データ追加(最大148 デバイスのデータ収集が可能)

・アラームレコーダ(最小 0.1 秒周期でゲートウェイ内部メモリにデータを常時バッファリングし、 トリガ条件成立時にトリガ前後のデータをまとめて収集)

※オプションライセンスの購入と登録、ゲートウェイファームウェアのバージョンアップが必要です。

② PUSHLOG Viewer 操作性アップ

・収集デバイスを一覧表示上で直接編集(データ名やデバイス種別、アドレスなどの設定)

・設定インポート時のインポート内容選択

・表示データの絞り込み(フィルタ機能)

・リアルタイムグラフ(詳細モニタのグラフ表示を自動更新)

③ オプションライセンス登録およびライセンス管理

<ゲートウェイファームウェアのバージョンアップ>

・高速トリガ設定および収集データ追加

・アラームレコーダ

※バージョンアップ方法については7ページ以降をご確認ください。

<追加機能の内容>

次ページ以降に概要を記載しますのでご確認ください。

<変更実施日時>

2020年12月4日(金)18時~21時(予定)

<注意事項>

データ収集は、変更の前後も継続して実行されます。変更にあたり、ユーザ様で必要な作業はありま せん。変更時に一時的に PUSHLOG Viewer にアクセスできない状態が発生する可能性がありま す。アクセスできない場合は、しばらく時間を置いてから、再度 PUSHLOG Viewer にアクセスして いただきますよう、お願いいたします。 追加機能の詳細や操作方法については、ユーザーズマニュアルをご確認ください。

最新のユーザーズマニュアルは PUSHLOG Viewer のゲートウェイ設定画面で表示することが

🐨 pushlog ゲートウェイ設定 🗙 🗙	+									- Ø ×
← → C (m)									ń	* E
≡ ₩PUSHL OG										usco 😫
-בבא									01	
	ゲートウェー	イ設定管	雪理						解現ゲート (アクティ)	・ウェイ登録 ベート)
4-#1566										
詳細モニタ	ゲートウェイ一覧							、ウェイを絞り込む		۹
N-60-789										
リートリエイ酸化		型式	ゲートウェイネ	バージョン	SATABE	満足トリガ設定	育建トリガ設定	アラームレコーダ設定	設定 インボート / エクスボート	豆醇補助
ユーザアラーム設定	5902-6333-6347-355	GW-402	線曲管理	2.0.0p14	再现定	me	歌北	歌走	跳込 書出	1111
ユーザ管理	5902-7736-7733-628	GW-402	恒温槽温质監視		मध्यद्वे	司定			5531世出	和時 🖬
	5902-6833-6842-436	GW-402	測定データ保存		再设定	最走			認法工書出	ज्ञासह 😠
ライセンス管理	5902-5929-5951-225	GW-402	モータ運転状態監視		再設定	殿走			読込 書出	😠 副隊
									ローザー	・ズマニュアル
									1 外静概而接	RRiマニュアル

追加機能の内容

できます。

①データ収集機能追加

追加機能を使用するには、オプションライセンスの購入とライセンスキーの登録、ゲートウェイファーム ウェアのアップデートが必要です。オプションライセンスについては 6 ページをご確認ください。また、 ゲートウェイファームウェアのアップデートアップデート手順については 7 ページをご確認ください。

高速トリガ設定

最小10秒周期でデータ収集が可能です。データ収集するデバイス数は、登録するオプションライセンス によって、10点、20点、64点から選択できます。

収集データ追加

通常(最小1分周期)のトリガ設定で収集するデバイス数を拡張できます。追加するデバイス数は、 登録するオプションライセンスによって、64 点、128 点から選択できます。 128 点のオプションライセンスを登録すると、基本ライセンスの 20 点と合計で、**最大 148 点**の

デバイスのデータ収集が可能です。

アラームレコーダ

ゲートウェイの内部メモリに、設定した周期(最小 0.1 秒周期)でお客様装置から読み出したデータを 常時バッファリングしておき、トリガ条件成立時にトリガ前後のデータをまとめてクラウドに収集します。 装置エラー発生前後のデータ変化を確認したい場合などに活用できます。



④詳細モニタでデータを確認 CSV ファイル保存も可能

サンプリング周期:0.1 秒~10 秒

収集デバイス数:1~8

データ総数:4096 データ(収集デバイス数が1のときは4096 データ、

収集デバイス数が8のときは512データを収集可能)

データ総数の範囲内でトリガ前後のデータ数を自由に設定できます。



トリガ条件:外部機器の指定デバイスの変化、外部入力端子 ON、LOG ボタン、時間周期

②PUSHLOG Viewer 操作性アップ

ファームウェアのアップデートなど特別な操作は必要ありません。現在ご使用中の状態で追加機能を ご使用いただけます。

収集デバイスを一覧表示上で直接編集

編集画面を表示しなくても、一覧表示上でデータ名やデバイス種別、アドレスなどを直接編集できます。

収集対	す象デバイス設定								AIL:	プ 💿
	7-98	対象トリガ	デバイス経測			データ型		小歌点位置	:2 /1:	
	入力状態	1分周期	[NM]			符号なしワード	BIN		1	×
	温度	1分周期	DM		00001500	符号ありダブルワード	DEC		1	×
	振動計測値	1分周期	B - リンクリ	レー(ワ-	- ド扱い)	▲ 符号ありダブルワード	DEC		1	×
	15-	1分周期	VB - ワークリ	ノレー(ワ	ード扱い)	ビット	BIN		1	×
	原点センサ	1分周期	DM - データ	XEU		ビット	BIN		1	×
	ワーク有無	1分周期	EM - 拡張デ-	ータメモ	U F	ピット	BIN		1	×
			FM - ファイ) CM - コント	ルレジス ロールメ	9 7-1					
			TM - テンポ	ラリデー	タメモリ				+	追加

データ名やアドレスをキーボードで直接入力できます。

設定インポート時のインポート内容選択

ゲートウェイ設定をコピーするとき、コピーする設定内容を選択できます。



表示データの絞り込み(フィルタ機能)

リアルタイムモニタやヒストリカルモニタに表示する収集デバイスを選択できます。 必要なデータのみを表示することで、モニタ画面を見やすく表示することができます。

> リアルタイム	ム モニタ		最終デー	- 夕取得時間 :	: 2020/12/04 15:36	5:20		
出力電圧(U)	্	出力電圧(V)	ি	出力電圧(N)	ি		2092
	-78.8	しょわけ能	-13.9			92.7		
^> 3^	(৯) 01100000 01101010	00	000000 0000000	1 /111/34		0.44		
振動計測値		 エラ-		原点センサ				
	64.539		正常連転中		表示デバイス達	銀		
	有り				10秒周期			全てチェックする 全てチェックを外す
					出力電圧 (U)		🦲 出力電圧 (V)	🛑 出力電圧 (W)
					0) 7 <u>-</u> 97			
					1分周期			全てチェックする 全てチェックを外す
			M		入力状態		● 温度	● 振動計測値
選択したテ	ー タのみを絞	り込んで表	示します。		— 17-		原点センサ	 ワーク有無
	イムエータ			是终	デニク取得時間・	· 2020/12	0/04 15:35:20	ta sua
				<u>нх</u> т-с		. 2020/12		++>+
出力電圧(U)		〇 出力電	涯 (V)	()	N)	ি	
		34.2		-98.	4		64.2	
エ ラー								
	正常運	転中						

リアルタイムグラフ

1 分ごとに自動更新されるグラフ表示です。高速トリガ設定を使用しているときは 10 秒ごとに表示が 自動更新されます。



5 / 10ページ

③オプションライセンス登録およびライセンス管理

追加されたデータ収集機能(高速トリガ設定、収集データ追加、アラームレコーダ)を使用するときは、 オプションライセンス(ライセンスカード)を購入して、カードに記載されているライセンスキーをゲート ウェイに登録します。



オプションライセンス型式一覧

種類	型式	内容
	GL-S10	高速データ(10 秒周期)10 点追加ライセンス/年
高速データ追加 ^{※1}	GL-S20	高速データ(10 秒周期)20 点追加ライセンス/年
	GL-S64	高速データ(10 秒周期)64 点追加ライセンス/年
	GL-D64	収集データ(1 分周期)64 点追加ライセンス/年
収集) 一9 迫加 …	GL-D128	収集データ(1 分周期)128 点追加ライセンス/年
	CL_P100	アラームレコーダ標準ライセンス/年
マラールレコーダ※2	GL-RIUU	トリガ発生回数 100 回/月まで
		アラームレコーダ大容量ライセンス/年
	GL-RT000	トリガ発生回数 1000 回/月まで

※1 高速データ追加と収集データ追加のオプションライセンスはいずれか1種類のライセンスで そのうち1型式のライセンスのみ登録可能です。

※2 アラームレコーダのオプションライセンスはいずれか1型式のライセンスのみ登録可能です。

ライセンス管理画面でオプションライセンスの登録や使用可能期間を確認することができます。

ライセンス管理画面

ライセンス登録画面

📽 pushlog ライセンス世際	× +			- 0 ×	☆ pushiog 5122及時 × +	- 0 ×
	G		ž	usco 😝	€ → C ■ = *PUSHLOG	usco 🖨
ライセンス管	理			жиат Q	ライセンス管理 · 稼働管理 · ライセンス登録 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	E DCEPYINHER
8 9962-0553-0517-733-5 9962-7736-7733-07 9962-0673-0842-406 9962-9969-9951-7235	22:5 GW 402 GW 402 GW 402 GW 402	 グートウエイル 運動協同 運動協同 運動協同 運動 デーク活動()) 第二 	#299294824	9.00 2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009 20	ライセンスキー確認 ライセンスカード足風のライセンスキーを入力してください、 HERE 加速ので、 加速ので、 「日本のため」の「日本のため」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」の「日本のため」 「日本のため」の「日本のため」の「日本のため」 「日本のため」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」 「日本のため」」の「日本のため」」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」の「日本のため」」」の「日本のため」」」の「日本のため」」」」の「日本のため」」」」の「日本のため」」」の「日本のため」」」の「日本のため」」」の「日本のため」」」の「日本のため」」」」の「日本のため」」」の「日本のため」」」」の「日本のため」」」」の「日本のため」」」」の「日本のため」」」」の「日本のため」」」」」の「日本のため」」」」の「日本のため」」」」の「日本のため」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	

PUSHLOG ゲートウェイのファームウェアアップデート方法

ファームウェアアップデートの注意事項

・Ver1.0.*から Ver2.0.0 にバージョンアップするときは、ファームウェアのアップデート後、 クラウドからゲートウェイにゲートウェイ設定を再送信します。

ゲートウェイ設定の再送信中に電源を OFF すると、次回起動時、再び設定再送信が実行され るため、データ収集しない状態になります。

アップデートツールで「ファームウェアの更新が完了しました。」と表示してから、5分間、電源を OFF せずにお待ちください。

5 分経過後、ステータス LED が緑点灯になっていることを確認してから、ゲートウェイの電源 を OFF→ON してください。

なお、ゲートウェイ設定再送信中は、一時的にステータス LED が赤点灯しますが異常ではあり ません。

・ファームウェアのアップデート中はデータ収集が実行されませんのでご注意ください。

アップデート完了後はアップデート前に収集したデータに続けてデータ収集が実行されます。

<バージョンアップ内容>

・高速トリガ設定および収集データ追加

・アラームレコーダ

<アップデートツールおよびアップデートファイルのダウンロード手順>

①下記 URL から zip ファイルをダウンロードしてください。

http://www.uip.usco.jp/ftp/20201204.zip

②ファイルを PC のドライブに保存してください。

③ダウンロードしたファイル(20201204.zip)を解凍(展開)してください。

下記の2つのファイルが解凍先フォルダに作成されます。

PushLogUpdateToolInst_x64.msi → Pップデートツールのインストーラです。

pushlog_fw_2.0.0.bin → ファームウェアのアップデート用ファイルです。

ファイルのダウンロードができないお客様は、当社までお問い合わせください。

<アップデート手順>

①ダウンロードしたインストーラ(PushLogUpdateToolInst_x64.msi)を実行してください。 アップデートツールがインストールされます(対応 OS は Windows10 です)。

②USB ケーブル(miniB)で PC とゲートウェイの USB ポート(下図)を接続します。



リヤモジュール背面

③アップデートツールを起動します。

	U								
ŝ		USCO				^			
Ф	-	D PUSHI	LOG Upd	ate Tool					
	Ĭ								
🛥 PUSH	ILOG Upda	ate Tool N	/er 0.9.0				-		×
-バージョン 現在のI	У PUSHLOG	バージョン					, К —	ジョン確認	?(V)
ファーム・ アップデ	ウェア アップラ ート フォルダ	デート							
7r11l:	名							参照(B)…	
			J	アップデート(U)				
								終了(X)	

④参照ボタンをクリックした後、[開く]画面でダウンロードしたアップデートファイル

(pushlog_fw_2.0.0.bin)を開いてください。

🕶 PUSHLOG Update Tool 🛛 Ver 0.9.0	-		\times
バージョン 現在のPUSHLOG バージョン] //-	ジョン確認	(V)
ファームウェア アップデート アップデート フォルダパス C¥Users¥			
ファイル名 pushlog.fw_2.0.0.bin]	惨照(B)···	
アップデート(U)			
		終了(X)	

⑤ゲートウェイの電源が ON している状態で[アップデート]をクリックします。

⑥下記の画面を表示したら[はい]をクリックします。

確認		\times
	PUSHLOGのプログラムアップデートを行いますか?	
	はい(Y) いいえ(N)	

⑦下記の画面を表示している間(ファームウェアのアップデート中)はゲートウェイの電源を OFF

しないでください。

アップデート	
	ファームウェアのアップデート中です。 電源を切らすにしばらくお待ちください。

⑧下記の画面を表示してもゲートウェイの電源を OFF しないでください。

ファームウェアの更新が完了しました。 ステータスLEDが点滅していないことを確認し 電源を入れなおしてください。	アップデート						
電源を入れなおしてください。		ファームウェアの更新が完了しました。					
		電源を入れなおしてください。					
ок		ок					

ファームウェアアップデートの注意事項

・Ver1.0.*から Ver2.0.0 にバージョンアップするときは、ファームウェアのアップデート後、 クラウドからゲートウェイにゲートウェイ設定を再送信します。

ゲートウェイ設定の再送信中に電源を OFF すると、次回起動時、再び設定再送信が実行され るため、データ収集しない状態になります。

アップデートツールで「ファームウェアの更新が完了しました。」と表示してから、5分間、電源を OFF せずにお待ちください。

5 分経過後、ステータス LED が緑点灯になっていることを確認してから、ゲートウェイの電源 を OFF→ON してください。

なお、ゲートウェイ設定再送信中は、一時的にステータス LED が赤点灯しますが異常ではあり ません。

・設定再送信中に電源を OFF してしまったときは、電源を ON したあと 10 分以上電源を入れ たままにしてください。設定再送信が完了するとデータ収集を開始します。10 分以上経過して もステータス LED が赤点灯のままデータ収集しないときは、当社までご連絡ください。 ⑨アップデートツールは[OK]をクリックして、閉じてください。

ゲートウェイの表示灯の点灯タイミングについて

今回のバージョンアップに合わせて PUSHLOG Viewer からゲートウェイ本体のファームウェア バージョンを確認する動作を追加しました。

このため、ゲートウェイの電源投入後、LTE 電波強度表示灯が点灯→送信(受信)状態表示灯が点灯 するまでの時間が若干増加しています。点灯タイミングの変化は、ゲートウェイの異常によるものでは ありません。引き続きご使用いただきますよう、お願いいたします。

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社アスコ IoT 事業推進室 営業グループ メールアドレス:<u>inf.uip@usco.jp</u> 電話:06-6210-2226

以上